

観中人権だより

2024年度《No.5》 2024/9/27(金) 観音寺市立観音寺中学校

観音寺中学校教育講演会

9月21日(土)に教育講演会が開かれました。西讃ろうあ協会会長の近藤龍治さんから

「きこえない私からのメッセージ」という演題でご講演いただきました。

※西讃ろうあ協会

香川県内に在住する聴覚障がい者の生活と権利を守り、聴覚障がい者に対する社会一般の認識を高めるための諸事業を行い、福祉の発展と充実を図ることを目的とする協会。

〈近藤さんの講演より〉

○ 外見だけでは、聞こえないか分からない。

(目の不自由な人は、白い棒を持っていて分かるし、足の不自由な人は車椅子に乗っていて分かる)

① 耳が聞こえない → 周りの音、声が聞こえない。

② 話せない → 自分の声が聞こえない、伝えられない。

困ること

○ コミュニケーション

○ 情報獲得ができない → 疎外感(仲間に入れない)を感じる。

☆ ヘレンケラーの言葉

- ・ 目が見えないのは、人と物をきりはなす。
- ・ 耳が聞こえないのは、人と人をきりはなす。

ご自身の体験も踏まえ、「きこえない」ことで、どんな困ったことがあるのか、人とのつながりで大切にしたいことについて講演していただき、最後に、「お互いに助け合えば、生きていける」と教えていただきました。



1年生の感想から

○耳がきこえない人とのコミュニケーションで、手話ができなかったとしてもジェスチャーで伝え、耳のきこえない人たちでも、たくさんの夢をもち幸せになれるような世界をつくらないといけないと思った。自分は自分、自分の中で基準を作らずに、周りの人たちにも、そして自分にも思いやりや優しさの心をもって生きたいと思った。

○誰もが平等な世の中にするために、手話を覚えたり、それが難しかったら文字におこして伝えたりするなどの何かしらの方法でコミュニケーションをとることが大切だと思いました。

○今まで私は、耳がきこえない人に対して「かわいそうだ」、「優しくしないといけない」という偏見を持っていました。だけど、近藤さんの講演をきいて、そういった考えは障がいをもっている人を傷つけてしまうということを知りました。

○電車の中で女性がスマホで字を見せてくれたみたいに、私も少しチャレンジしてみます。私は、少しでも簡単な手話を覚えたり、スマホで字を見せたりしてみたいです。

○周りの人の何気ない文字やジェスチャーでも、耳がきこえない人にとっては救いになっているということ

を知って、私も困っている人がいたら私なりに困っている人を助けたいと思いました。

○もし、私が実際に聴覚に障がいがある人と会ったら、助けようと思っても勇気が出ないかもしれないです。しかし、今日の話聞いてスマホに文字を打って見せるだけですごく助かったというエピソードを聞いて、一人ひとりの少しの思いやりが1人を救えることが分かった。

○みんなの輪の中に入れない孤独感があって、私たちがそれを気づいてあげられないからそういう風を感じているだろうなと思いました。だから、私たちがそれに気づいてあげられるような社会をつくってあげたいし、もっとそういう人たちについて向き合っていきたいです。

○今日の講演を聞いて、他の人と違うだけでどれくらい辛いのが分かりました。耳がきこえないから夢をあきらめる子がいると聞いて、耳がきこえないだけで未来がつぶされると思い、びっくりしました。僕は、どんな人でも好きなことができる世の中にしたいと思いました。

2年生の感想から

○耳がきこえないと声や周りの音、人の話す声が1つもきこえなくて、孤独感や疎外感で怖かったんだと分かりました。自分の声も分からないから話すこともできないというのは相当辛かったと思います。耳がきこえないからといって何もできないわけではないけど、過ごしにくい社会なのでもっと私たちがサポートして、よりよい町づくりが大切だと改めて思いました。

○視覚的表示をすることや簡単な手話を覚えることは自分たちにもできることなので、もし困っている人がいたら積極的に視覚的表示をしたいと思います。家に手話の本があるので見てみようかなと思います。

○もし自分が耳などどこか不自由だったらすごく辛いと思うので、今回のようにもしどこか不自由な人に会ったら助けてあげたいなと思いました。

○私はいつもテレビを見て笑ったり家族と何気ない会話をしたりすることは当たり前だと思っていました。耳のきこえない方のオリンピックがあることを今回初めて知りました。耳のきこえない方の知識がまだまだないので、調べたいです。

○障がいのある人がかわいそうだななんて他人が決めることでもないし、普通の基準も誰かが決めることではないという平等の大切さをたくさん知れて良かったです。

○僕のおじいちゃんは耳がきこえづらくて、話すのも手話で大変です。手話も僕は少ししかできません。身近にそんな人がいるからよく分かります。安心できる社会になるといいなと思いました。

3年生の感想から

○初めて知ったことがたくさんありました。私は、耳がきこえない人が自転車に乗っていて、その人が補聴器をつけていたら、警察官にイヤホンをのけなさいと注意されている動画を見たことがあります。外見だけでは分からないこともあるので、今日知ったことを周知し、広めていきたいと思いました。

○差別があるのは悲しいことだけど、耳がきこえない人への理解が増えるといいなと思った。自分には関係ないと思うのではなく、自分にできることはなにかを考えていきたい。

○たくさんの方が手話を少しでもできるようになったら耳がきこえない人でも過ごしやすい社会をつくっていくことができるのかなって思ったので、簡単な手話とかを少し覚えてみたいです。耳がきこえなくても人とつながることができるって言うようにしたいです。

○耳がきこえない人はなぜ話せないのか不思議だったけど、自分の声が聞こえないからと知って、生活するのは大変だなと思いました。これから先、障がいをもっている人に会ったら、助けられるようにいろいろなことを理解して過ごしていきたいです。

○手話を禁止されていたという話を聞いたときは、とてもビックリしました。手話を禁止ということは、私でいうと喋ることを禁止されていると考えたら耐えられません。電車のようなエピソードがあれば、耳がきこえなくてもお互いが温かくなれると思います。

○自分の意思が伝えられない・相手の意思が伝わらない＝情報が入ってこないとなると、自分の知りたいことが分からないからすごく困るなと思いました。みんなが幸せな世界になってほしいです。